

第2章 高齢者の現状と推計

I 高齢者の現状と推移

1 人口・高齢化率の推移

平成29年度以降の東浦町の人口・高齢化率の推移は表1のとおりです。令和2年4月1日現在の総人口は50,154人で、平成29年度以降緩やかに減少ないしはほぼ横ばいの数字となっています。

そして、令和2年度の本町の65歳以上の高齢者人口は、12,763人で、高齢化率は25.4%となっており、同時点の全国高齢化率28.6%よりは低いものの、愛知県の高齢化率24.8%よりは高い状況となっています。また、高齢者人口・高齢化率ともに、平成29年度よりも増加・上昇しており、高齢化は着実に進んでいます。

さらに、令和2年度には後期高齢者人口が前期高齢者を上回る状況となりました。

表1 人口・高齢化の推移

区分 年度	東浦町				知多北部 広域連合	愛知県	全国
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和2年度	令和2年度	令和2年度
総人口	50,419	50,283	50,045	50,154	343,095	7,542千人	125,930千人
高齢者人口 (65歳以上)	12,357 24.5%	12,572 25.0%	12,647 25.2%	12,763 25.4%	81,632 23.7%	1,875千人 24.8%	36,050千人 28.6%
後期高齢者人口 (75歳以上)	5,724 11.3%	6,035 12.0%	6,267 12.5%	6,439 12.8%	41,306 12.0%	958千人 12.7%	18,633千人 14.7%
前期高齢者人口 (65~74歳)	6,633 13.1%	6,537 13.0%	6,380 12.7%	6,324 12.6%	40,326 11.7%	917千人 12.1%	17,417千人 13.8%

出典：住民基本台帳(各年3月末現在)愛知県データは「愛知県ホームページ」全国データは「総務省」

2 人口構造

令和2年3月31日現在の5歳階級別の人口ピラミッドでは、45歳から49歳までと70歳から74歳までの人口が多く、高齢者人口の男女比率は全体で男性がわずかに高いですが、年齢が高くなるほど女性の比率が高くなっている状況にあります。（図1）

今後ますます高齢化が進み、介護保険制度含めその他施策についてもそれに対応できるよう整備していく必要性があります。

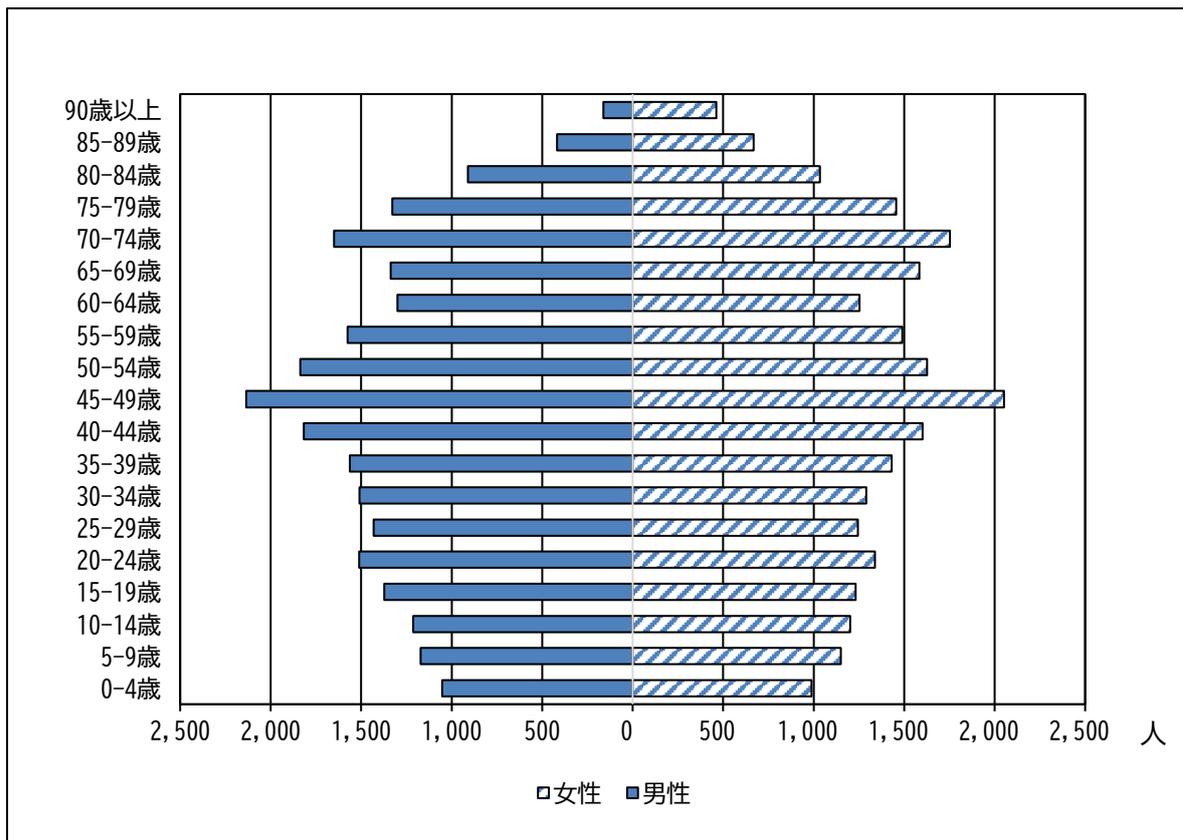


図1 5歳階級別人口ピラミッド

出典：「東浦町住民基本台帳」令和2年3月末現在

3 介護認定者数及び介護給付費の推移

介護保険における被保険者別の要支援・要介護の認定状況は、図2のとおりです。令和2年度を除き、要支援・要介護認定者数及び高齢者人口に占める要支援・要介護認定者数の割合（認定率）は緩やかに増加している傾向にあります。

また、過去3年の介護給付費の状況についても、要支援・要介護認定者数の増加に伴って緩やかに増加している傾向にあります。（図3）

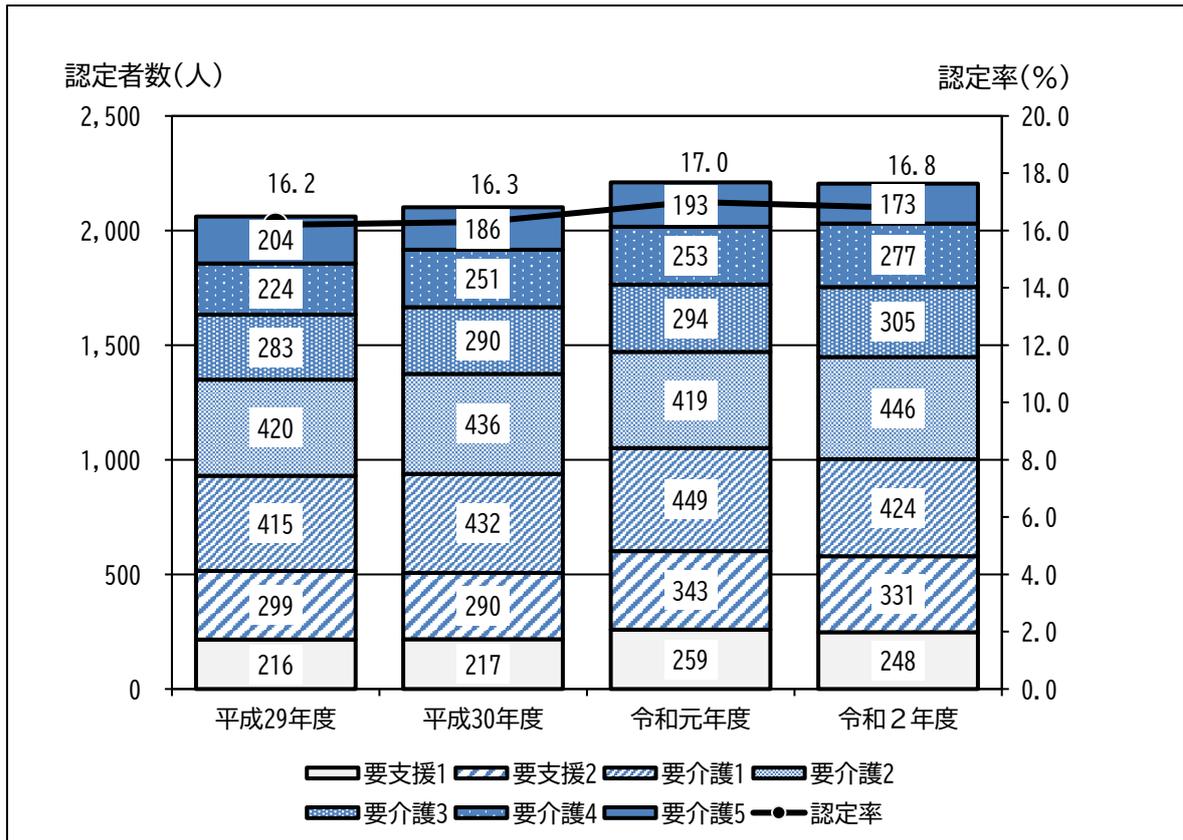


図2 要支援・要介護認定者数及び認定率の推移

出典：「知多北部広域連合」令和2年3月末現在

注) 認定率における要支援・要介護認定者数には第2号被保険者の要支援・要介護認定者数は除く

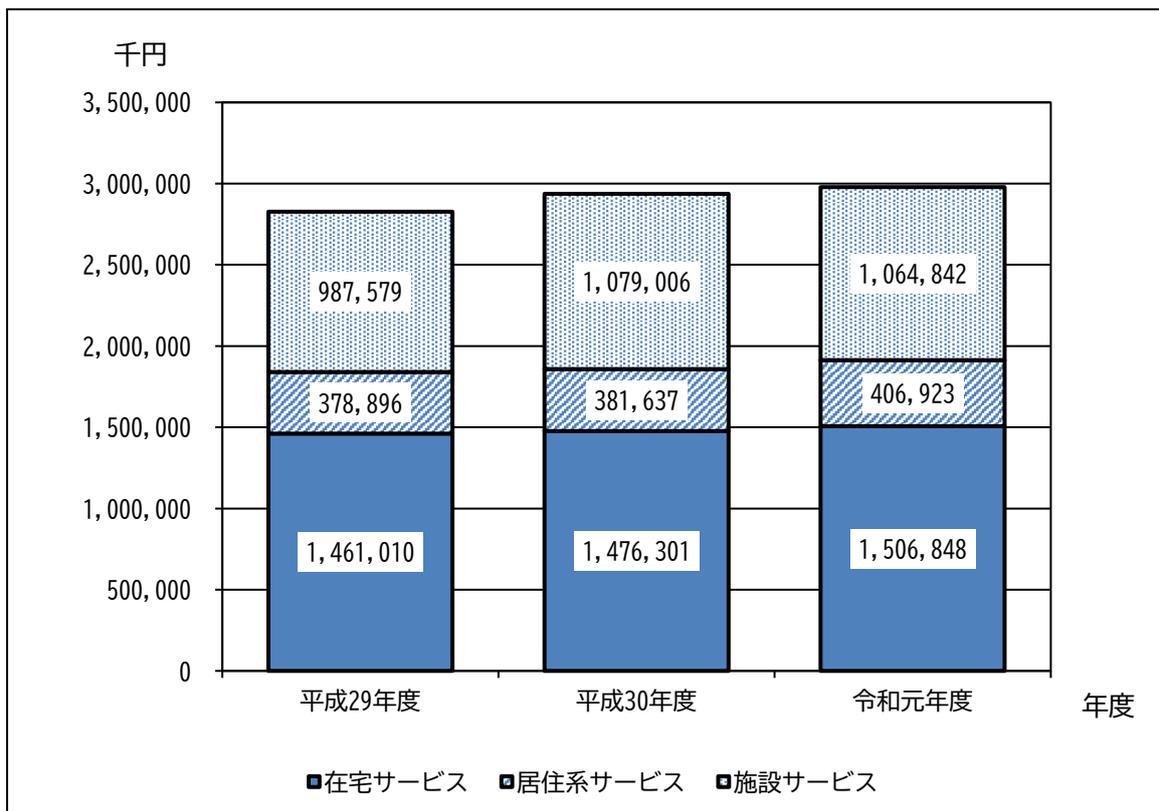


図3 東浦町の介護給付費の推移

出典：「知多北部広域連合」

注) 高額介護サービス費等一部保険給付を除く。

Ⅱ 将来推計

東浦町の年齢別人口の将来推計をまとめたものは図4のとおりです。

総人口とともに年少人口（0～14歳の人口）、生産年齢人口（15～64歳の人口）は減少傾向にあります。高年齢者人口は増加する見込みとなっています。これに伴い、高齢化率（総人口に占める65歳以上の高齢者数の割合）についても上昇する見込みです。

令和2年度には後期高齢者人口が前期高齢者人口を上回る状況となっていますが、この状況は今後についても同様に推移していく見込みとなっているほか、高齢者のみ世帯数及び高齢者単身世帯についても増加していく見込みとなっています。（図5）

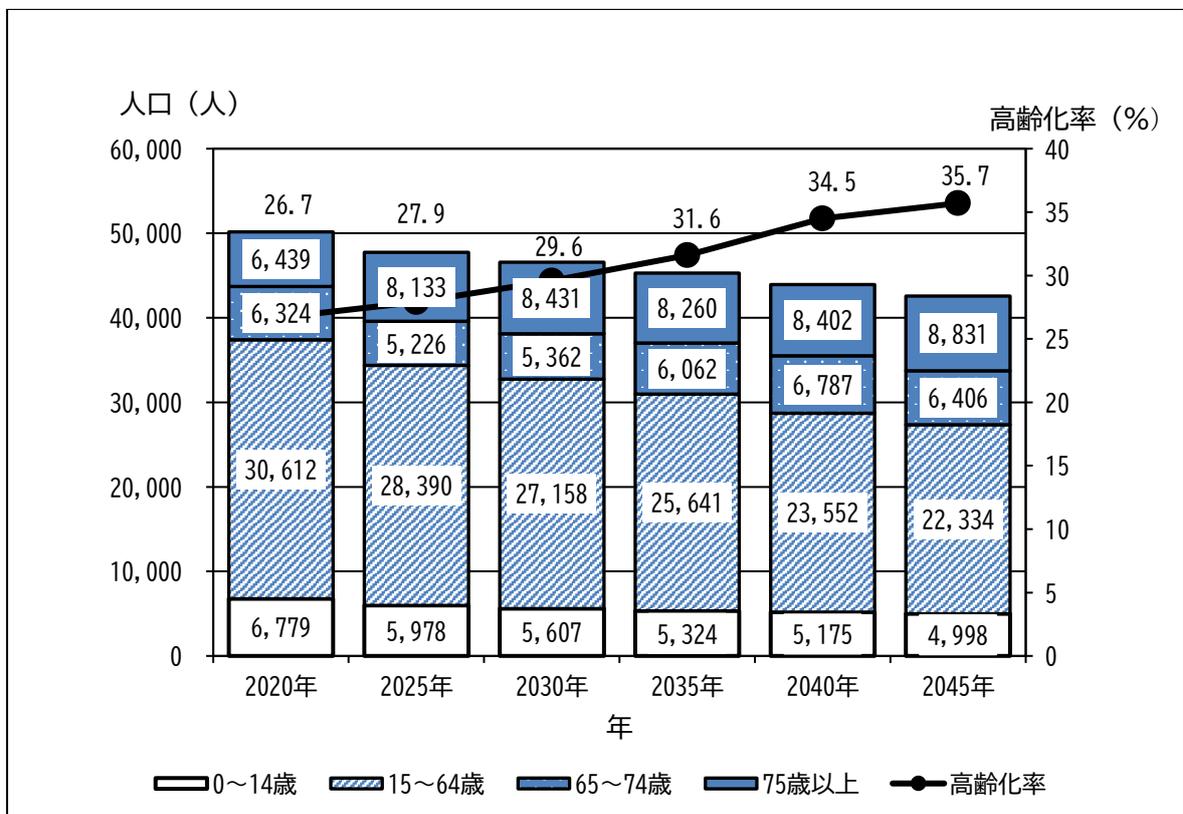


図4 年齢別人口推計

出典：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)』より

注) 令和2年の人口については「東浦町住民基本台帳」より

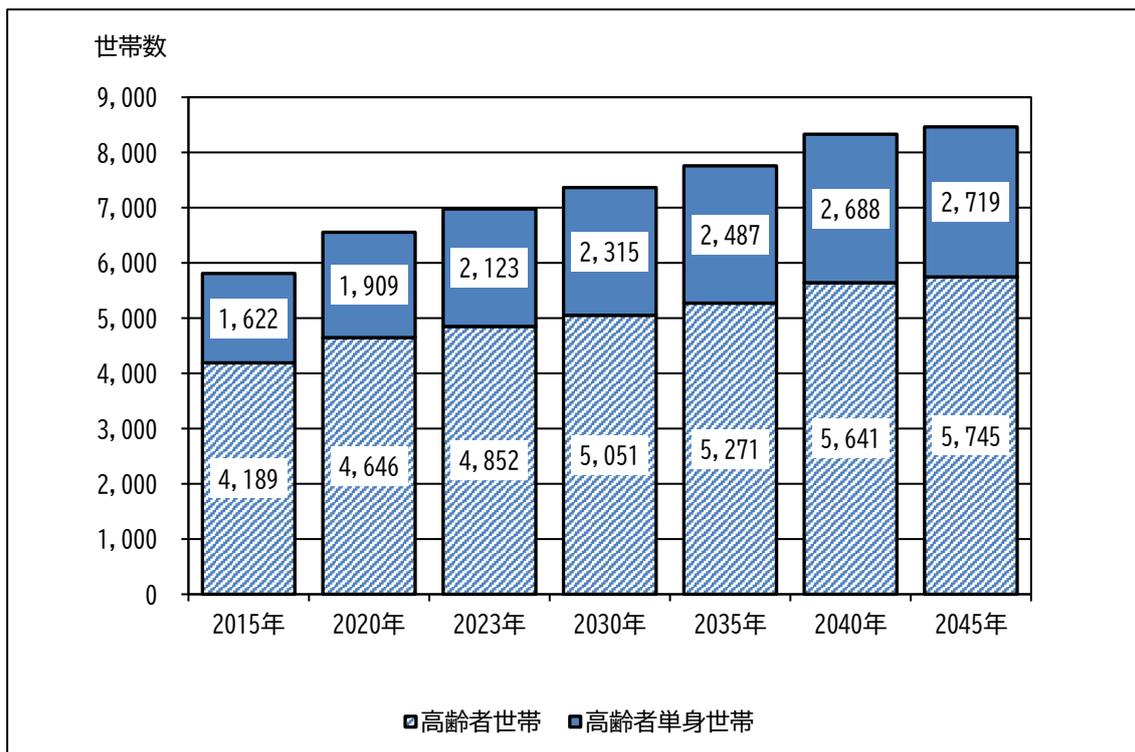


図5 高齢者世帯・高齢者単身世帯の推移

出典：G空間情報センターより

注) 基礎数値は平成27年国勢調査を使用